

企画展

「品川 歌舞伎の大舞台 一館蔵役者絵展」

期 間 平成 22 年 2 月 13 日（土）～4 月 11 日（日） 50 日間
会 場 1 階ロビー 第二展示室
入館者数 1,578 名

[開催趣旨]

浮世絵の主要な題材のひとつとして「役者絵」があり、品川に関係する浮世絵を収集している当館も多くの役者絵を所蔵している。江戸時代、近郊の観光地として人気が高かった品川は、歌舞伎の舞台としても数多く取り上げられている。役者絵という視点から江戸名所品川を紹介する展示を行なう。

[展示概要]

「品川と歌舞伎」、「品川ゆかりの歌舞伎」、「旅行く役者」などのコーナーを設け、江戸時代の歌舞伎の舞台となった品川を紹介した。また、歌舞伎や芝居小屋、役者についての基本的な知識も項目立てて説明し、初心者に対してもわかりやすい展示となるようにした。

- I. 歌舞伎の舞台・品川
- II. 品川ゆかりの歌舞伎
- III. 旅する役者
- IV. 憧れの芝居小屋
- V. 歌舞伎への弾圧
- VI. 品川を背景に
- VII. スーパースターを偲んで
- VIII. 受け継がれる歌舞伎



品川歴史館企画展

「品川 歌舞伎の大舞台～館蔵役者絵展～」

展示浮世絵リスト

会期:平成22年2月13日(土)～4月11日(日)

	資料名	作者	年代	所蔵
江戸名所 品川	東都名所 御殿山花見 品川の駅 袖かうら 月の岬	歌川広重(初代)	安政元年(1854)7月	品川歴史館蔵
	東海道高輪風景	橋本貞秀	文久2年(1862)10月	品川歴史館蔵
	風流南駅 汐干	菊川英山	享和元～文化元年 (1801～1804)頃	品川歴史館蔵
	江戸自慢三十六興 高輪廿六夜	歌川国貞(初代)・ 歌川広重(二代)	元治元年(1864)2月	品川歴史館蔵
	江戸自慢三十六興 海案寺紅葉	歌川国貞(初代)・ 歌川広重(二代)	元治元年(1864)	品川歴史館蔵
	美南見十二候 十二月	鳥居清長	天明3年(1783)頃	品川歴史館蔵
	東海道 鈴ヶ森	歌川広重(二代)	文久3年(1863)4月	品川歴史館蔵
	鈴ヶ森行烈之図	豊原国周	文久3年(1863)4月	品川歴史館蔵
品川 ゆかりの 歌舞伎	(鈴ヶ森 白井権八 尾上菊五郎 幡ずい長兵衛 松本幸四郎)	歌川国貞(初代)	文政5年(1822)	品川歴史館蔵
	幡随長兵衛 白井権八	歌川国貞(初代)	安政5年(1858)10月	品川歴史館蔵
	小紫比翼塚之話(「新撰東錦絵」の1組)	月岡芳年	明治19年(1886)	品川歴史館蔵
	(浮世柄比翼稲妻 鈴ヶ森の場)	歌川国貞(初代)	安政5年(1858)10月	品川歴史館蔵
	白井権八 岩井半四郎 幡随院長兵衛 河原崎三升	豊原国周	明治5年(1872)	品川歴史館蔵
	(八百や娘お七)	歌川国芳	嘉永4年(1851)	品川歴史館蔵
	御意に叶ひ大入を 鳥尽 かわらひわお七	歌川国貞(初代)	万延元年(1860)8月	品川歴史館蔵
	松竹梅湯嶋掛額	月岡芳年	明治20年(1887)9月1日	品川歴史館蔵
	(芝居絵 与話情浮名横櫛 木更津見染の場)	歌川国貞(初代)	嘉永6年(1853)4月	品川歴史館蔵
	異名取気男意揃 キラレ与三	歌川国貞(初代)	安政6年(1859)6月	品川歴史館蔵
	(姿花江戸伊達染 足利頼兼)	歌川豊国(初代)	文化8年(1811)	品川歴史館蔵
	(伊達模様解説絹川)	歌川国安(初代)	文政4年(1821)	品川歴史館蔵
	御殿山桜木草紙 恋女房染分手綱	豊原国周	明治14年(1881)	品川歴史館蔵
	五十三次の内 品川	歌川国貞(初代)	嘉永元年(1848) 6月～12月頃	品川歴史館蔵
	顔見世 初雪伶人袖 かつしかのお十	奥村政信	寛延3年(1750)	品川歴史館蔵
	御祭佐七 芸者小糸	歌川国貞(初代)	安政2年(1855)8月	品川歴史館蔵
江戸八景 品川秋月	豊原国周	文久3年(1863)7月	品川歴史館蔵	
東海道一ト眼千両 品川うはばみおよし	豊原国周・ 歌川広重(二代)	慶応3年(1867)	品川歴史館蔵	

	資料名	作者	年代	所蔵
旅ゆく 役者	下り役者江戸着 江戸役者大師参り 大森にて出会の図	歌川国貞(初代)	天保9年(1838)	品川歴史館蔵
	東下り看客入船 (役者 高輪大木戸)	歌川国貞(初代)	嘉永5年(1852)8月	品川歴史館蔵
		歌川国芳	嘉永4年(1851)	品川歴史館蔵
憧れの 芝居 小屋	白井権八鈴ヶ森之場組上ケ三枚続	作者不明	明治32年(1899) 4月8日印刷・17日発行	品川歴史館蔵
	千代萩御殿場組上二枚続	作者不明	明治25年(1892)5月	品川歴史館蔵
	義士両国橋引上組上つゞき	作者不明	大正5年(1916)5月	品川歴史館蔵
	初春書始寿語六	昇齋一景・豊原国周・歌川国貞(二代)・歌川芳虎・落合芳幾・歌川国重・小林永濯・歌川国貞(三代)	明治4年(1871)	品川歴史館蔵
歌舞伎への 弾圧	忠臣蔵義士高輪引取之図	歌川国芳	文政元年～天保13年 (1818～1842)頃	品川歴史館蔵
	荷宝蔵壁のむだ書	歌川国芳	弘化4年(1847)頃	品川歴史館蔵
	中村座にて河原崎座合同狂言	豊原国周	明治8年(1875)	岡田一郎氏蔵
品川を 背景に	三十六ばんつゞき 役者十二つき 十月かいあん寺紅葉の図	歌川豊国(初代)	文化6年(1809)	品川歴史館蔵
	東海道五十三次(役者似顔九図)	歌川国貞(初代)	嘉永5年(1852)7月	品川歴史館蔵
	見立白浪八景 品川沖の帰帆 暁星五郎市村家橋	豊原国周	慶応元年(1865)7月	品川歴史館蔵
	看立江戸名所絵合 (市川團十郎 品川駅)	歌川広重(二代)・歌川国貞(初代)	文久元年(1861)8月	品川歴史館蔵
	品海之釣魚	安達吟光	明治7年(1874)	品川歴史館蔵
		豊原国周	明治29年(1896)8月10日	品川歴史館蔵
をスパー ぶ死 絵	死絵 尾上栄三郎	落合芳幾	万延元年(1860)6月	岡田一郎氏蔵
	死絵 市村竹之丞	作者不明	嘉永4年(1851)	岡田一郎氏蔵
	死絵 八代目市川團十郎	作者不明	嘉永7年(1854)頃	岡田一郎氏蔵
	死絵 河原崎国太郎	豊原国周	慶応3年(1867)頃	岡田一郎氏蔵
受け継が れる歌 舞伎	東京無双当以長揃 市川三升	豊原国周	明治6年～10年 (1873～77)頃	品川歴史館蔵
	東京無双当以長揃 尾上梅幸	豊原国周	明治6年～10年 (1873～77)頃	品川歴史館蔵
	東京無双当以長揃 初代市川左團次	豊原国周	明治6年～10年 (1873～77)頃	品川歴史館蔵
	俳優狂言競之内 鈴かもりの場	豊原国周	明治19年(1886)	品川歴史館蔵